

学校教育目標	すすんで学び 笑顔かがやく さわの里～ 思いや願いをもち、つながる力を育てます～				
	○すすんで課題解決に向けて取り組み、学び続けることができるようにします。(知) ○気持ちのよいあいさつができ、友達や自分を大切にできるようにします。(徳) ○元気に遊び、しっかりと食べ、生活習慣に気を付けて生活できるようにします。(体) ○地域や集団における自分の役割を理解し、すすんで参加、協力できるようにします。(公) ○自分と友達や身の回りの人との違いを尊重し、すすんでコミュニケーションをとることができるようにします。(開)				
学校概要	創立 18 周年	学校長 倉本 恵	副校長 神野 崇	3 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 302 人	主な関係校: 浜中学校 富岡中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力>	浜中学校 杉田小学校 梅林小学校 さわの里小学校	○気持ちよい挨拶をする子ども ○友だちを大切にできる子ども ○時間を守る子ども 「基本的な生活習慣の確立」のために ①小中合同の研修会を実施 ②小学校・中学校、双方の見学を実施

中期取組目標	○一人ひとりの思いや願いを大切に、気付きや考えをつなげ、主体的・対話的で深い学びを実現します。 ・1年目: 学ぶ楽しさを実感できる授業づくりをすすめます。 ・2年目: 伝え合う楽しさを実感できる授業づくりをすすめます。 ・3年目: 考えが深まったり、新しい考えが生み出されたりする楽しさを実感できる授業づくりをすすめます。 ○人、もの、ことと関わり、豊かな体験からの学びを実現します。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。この学習で「何(を学ぶか)(が身に付いたか)」を明確にした、子ども主役の学習を目指す。②重点研究主題を「主体的に学び合う子どもの育成」とし生活科、総合的な学習の時間を中心に、理論研修や授業研究を通じた授業改善を進める。
担当	各種重点	
徳	道徳教育	①様々な活動を通して、他者とのつながりを大切に、尊重する態度を養う。互いに認め合うことで自尊感情を高めていけるようにする。②道徳科授業実践を保護者に伝える機会をもつ。③道徳科の諸価値について学習したことを生かすことができるよう、実生活との関連を図り、実践できるようにする。
担当	道徳部	
体	健康教育	①運動における自己のめあてを明確にした授業改善を行ったり、家庭と連携を取ったりして、健康への興味関心を高めるようにする。②継続して運動に取り組んでいけるよう、中休みのイベントを工夫する。③正しい知識と情報に基づいて、自分で自分の食を選択できる子を目指し、食育を推進する。
担当	体育部	
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①教科等横断的な学習を意図的・計画的に行い、「人、こと、もの」とかかわる学びを通して、よりよい人間関係を形成する力を育成する。②地域の資源を活用し、課題解決的なプロセスを通して意思決定する力を育成する。③「自分づくり・パスポート」を活用し、学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自身の変化や成長を自己認知・自己評価できるようにする。
担当	生活・総合、特活	
いじめへの対応		①日頃から、児童同士が適切な言葉遣いで関わり合うことができているか、児童が互いに関心をもって言葉かけをし合っているか、などに全教職員で注視し、いじめの未然防止に努めていく。②いじめが疑われる場合には、いじめ防止対策委員会を開催し迅速に対応をして解決していく。
担当	各種特別支援	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①5年次以下の教職員が児童の考えを生かす授業力や、児童指導の力の向上のため、中堅教員の講師の下、月1回のメンター研修を行う。②ミライム、SSD等を活用し、全職員による学校組織運営の持続可能な環境を整える。③「モデル事業」で、生み出された時間を「授業改善」「働き方改善」に活用する。
担当	教務部	
地域学校協働活動		①学校教育活動の充実、運営の改善に資する協議機関として、学校運営協議会を設置し、地域に開かれた信頼される学校づくりの実現を目指した熟議を行う。②これまでの地域と連携した教育活動を、系統性と学校教育目標の実現を意識したカリキュラム・マネジメントに資する活動として捉え、継続発展させるとともに、目標やビジョンを地域と学校で共有した協働教育活動を実施する。
担当	各種連携	
情報教育		①ICT機器や学校図書館を活用し、目的に応じて情報を選ぶ力を身につけられるようにする。②情報機器の正しい使い方と情報モラルの必要性を理解した上で、適切に表現できるようにする。
担当	情報教育	
特別支援教育		①配慮の必要な児童の情報共有し、組織的に支援を講じ、必要に応じて外部機関との連携を図る。個別支援計画を中心に引継ぎを行う。②特別支援教室を本校の実態に応じて計画し実践していく。③個別支援学級と交流級の担任が連絡を密にとり計画的に交流学习を行う。
担当	各種特別支援	
		c10
担当		